令和6年度 1年 社会科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「地域の諸事象や地域的特色、我が国の歴史の大きな流れを諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする」

『知識・技能』社会的事象の特色や相互の関連を理解し、諸資料を適切に選択し活用することができる。 『思考・判断・表現』社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現することができる。 『主体的に学習に取り組む態度』社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し考えることができる。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に
			取り組む態度
主な	授業ノート	授業ノート	授業ノート
評価	提出課題	提出課題	提出課題
方法	定期テスト	定期テスト	
	小テスト	小テスト	

3. 年間指導計画·評価規準

J.	十间旧守时回	нін			1		
月	単元	時数	学習活動	1	2	3	評価規準(おおむね満足できる B)
	【地理的分野】						
4	第1部 世界と日		世界の地域構成を取り上	\circ	0	0	①緯度と経度,大陸と海洋の分布,主な国々の名
5	本の地域構成		げ,位置や分布などに着目				称と位置などを基に,世界の地域構成を大観し理
	第1章 世界の姿	5	して、課題を追究したり解				解している。
			決したりする活動を通し				
	第2章 日本の姿	5	て,次の資質・能力を身に				②世界の地域構成の特色を, 大陸と海洋の分布や
			付けることができるように				主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面
			する。				的・多角的に考察し、表現している。
			緯度と経度,大陸と海洋				
			の分布, 主な国々の名称と				③世界の地域構成について,よりよい社会の実現
			位置などを基に,世界の地				を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し
			域構成を大観し理解する。				ようとしている。
			世界の地域構成の特色				
			を,大陸と海洋の分布や主				
			な国の位置,緯度や経度な				
			どに着目して多面的・多角				
			的に考察し、表現する。				
			世界と日本の地域構成に				
			ついて,よりよい社会の実				
			現を視野にそこで見られる				
			課題を主体的に追究する。				

	第2部 世界のさ		場所や人間と自然環境と	0	0	0	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然
	まざまな地域		の相互依存関係などに着目				及び社会的条件から影響を受けたり, その場所の
			して、課題を追究したり解				自然及び社会的条件に影響を与えたりすること
	第1章 人々の生	9	決したりする活動を通し				を理解している。
6	活と環境		て,次の資質・能力を身に				①世界各地における人々の生活やその変容を基
7	第2章 世界の諸	4 2	付けることができるように				に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解して
9	地域		する。				いる。その際,世界の主な宗教の分布についても
10			人々の生活は,その生活				理解している。
11	1 アジア州		が営まれる場所の自然及び				
12	2 ヨーロッパ州		社会的条件から影響を受け				②世界各地における人々の生活の特色やその変
	3 アフリカ州		たり、その場所の自然及び				容の理由を, その生活が営まれる場所の自然及び
	4 北アメリカ州		社会的条件に影響を与えた				社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察
	5 南アメリカ州		りすることを理解する。ま				し,表現している。
	6 オセアニア州		た、世界各地における人々				
			の生活やその変容を基に,				③世界各地の人々の生活と環境について, よりよ
			世界の人々の生活や環境の				い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主
			多様性を理解する。その際、				体的に追究しようとしている。
			世界の主な宗教の分布につ				
			いても理解する。				
			世界各地における人々の				
			生活の特色やその変容の理				
			由を、その生活が営まれる				
			場所の自然及び社会的条件				
			などに着目して多面的・多				
			角的に考察し、表現する。				
			世界各地の人々の生活と				
			環境について,よりよい社				
			会の実現を視野にそこで見				
			られる課題を主体的に追究				
			する。				
	【歴史的分野】						
4	第1部 歴史のと		中学校の歴史学習の導入	\circ	0	\bigcirc	①年代の表し方や時代区分の意味や意義につい
	らえ方と調べ方		として、小学校で学習した				ての基本的な内容を理解している。
			内容をもとに課題を追究し				①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年
	第1節 歴史の流	2	たり解決したりする活動を				表などにまとめたりするなどの技能を身に付け
	れと時代区分		通して, 年代の表し方や時				ている。
			代区分の意味や意義につい				②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながり
			ての基本的な内容を理解				などに着目して,歴史上の人物や文化財,出来事
			し、資料から歴史に関わる				などから適切なものを取り上げ, 時代区分との関
			情報を読み取ったり、年表				わりなどについて考察し表現している。
			などにまとめたりするなど				③過去を継承しつつ, 現在に生きる自身の視点か
			の技能を身に付ける。				ら歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野に
			小学校での学習を踏まえ				そこで見られる課題を主体的に追究しようとし
			て、歴史上の人物や文化財、				ている。
			出来事などと時代区分の関				

			わりなどについて考察し表				
			現する。				
5	第2部 歴史の大		世界の古代文明や宗教の	0	0	\circ	①世界の古代文明や宗教のおこりを基に, 世界の
6	きな流れと時代の		おこりを基に、世界の各地				各地で文明が築かれたことを理解している。
7	移り変わり		で文明が築かれたことを理				①日本列島における農耕の広まりと生活の変化
9			解する。				や当時の人々の信仰,大和朝廷(大和政権)によ
10	第1章 古代国家	18	日本列島における農耕の				る統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に,
	の成立と東アジア		広まりと生活の変化や当時				東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国
			の人々の信仰, 大和朝廷 (大				家が形成されていったことを理解している。
	第1節 人類の登		和政権)による統一の様子				①律令国家の確立に至るまでの過程, 摂関政治な
	場から文明の発		と東アジアとの関わりなど				どを基に, 東アジアの文物や制度を積極的に取り
	生へ		を基に,東アジアの文明の				入れながら国家の仕組みが整えられ,その後,天
	第2節 東アジア		影響を受けながら我が国で				皇や貴族による政治が展開したことを理解して
	の中の倭(日本)		国家が形成されていったこ				いる。
	第3節 中国にな		とを理解する。				①仏教の伝来とその影響, 仮名文字の成立などを
	らった国家づくり		律令国家の確立に至るま				基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それら
	第4節 展開する		での過程、摂関政治などを				を基礎としながら文化の国風化が進んだことを
	天皇・貴族の政治		基に、東アジアの文物や制				理解している。
			度を積極的に取り入れなが				②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の
			ら国家の仕組みが整えら				広まりや生産技術の発展, 東アジアとの接触や交
			れ、その後、天皇や貴族に				流と政治や文化の変化などに着目して, 事象を相
			よる政治が展開したことを				互に関連付けるなどして, 古代の社会の変化の様
			理解する。				子を多面的・多角的に考察し,表現している。
			仏教の伝来とその影響,				②古代までの日本を大観して, 時代の特色を多面
			仮名文字の成立などを基				的・多角的に考察し,表現している。
			に、国際的な要素をもった				③古代までの日本について,よりよい社会の実現
			文化が栄え、それらを基礎				を視野にそこに見られる課題を主体的に追究し
			としながら文化の国風化が				ようとしている。
			進んだことを理解する。				
			古代文明や宗教が起こっ				
			た場所や環境、農耕の広ま				
			りや生産技術の発展、東ア				
			ジアとの接触や交流と政治				
			や文化の変化などに着目し				
			て、事象を相互に関連付け				
			るなどして, 古代の社会の				
			変化の様子を多面的・多角				
			的に考察し、表現する。				
			古代までの日本を大観し				
			て、時代の特色を多面的・				
			多角的に考察し、表現する。				
			古代までの日本につい				
			て、よりよい社会の実現を				
			視野にそこに見られる課題				
			を主体的に追究する。				

11	第2章 武家政権	15	鎌倉幕府の成立, 元寇 (モ			①鎌倉幕府の成立, 元寇(モンゴル帝国の襲来)
12	の成長と東アジア	10				などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武
1	の成立と来アクア		基に、武士が台頭して主従			力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広
1	第1節 武士の世		をに、成工が占頭して主体 の結び付きや武力を背景と			まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こ
	の始まり		した武家政権が成立し、そ			ったことを理解している。
	第2節 武家政権		の支配が広まったこと、元			①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国
	の内と外		窓がユーラシアの変化の中			際的な役割などを基に、武家政治の展開ととも
	第3節 人々の結		で起こったことを理解す			に、東アジア世界との密接な関わりが見られたこ
	び付きが強まる社		3.			とを理解している。
	会		南北朝の争乱と室町幕			①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市
			府、日明貿易、琉球の国際			や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民
			的な役割などを基に、武家			衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的
			政治の展開とともに,東ア			な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会
			ジア世界との密接な関わり			や文化が生まれたことを理解している。
			が見られたことを理解す			②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける
			る。			交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象
			農業など諸産業の発達,			を相互に関連付けるなどして,中世の社会の変化
			畿内を中心とした都市や農			の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。
			村における自治的な仕組み			②中世の日本を大観して,時代の特色を多面的・
			の成立,武士や民衆などの			多角的に考察し、表現している。
			多様な文化の形成、応仁の			③中世の日本について、よりよい社会の実現を視
			乱後の社会的な変動などを			野にそこで見られる課題を主体的に追究しよう
			基に、民衆の成長を背景と			としている。
			した社会や文化が生まれた			
			ことを理解する。			
			武士の政治への進出と展			
			開,東アジアにおける交流,			
			農業や商工業の発達などに			
			着目して,事象を相互に関			
			連付けるなどして、中世の			
			社会の変化の様子を多面			
			的・多角的に考察し,表現			
			する。			
			中世の日本を大観して,			
			時代の特色を多面的・多角			
			的に考察し、表現する。			
			中世の日本について、よ			
			りよい社会の実現を視野に			
			そこで見られる課題を主体			
			的に追究する。			
2	第3章 武家政権		ヨーロッパ人来航の背景	0		①ヨーロッパ人来航の背景とその影響, 織田・豊
	の展開と世界の動	7	とその影響、織田・豊臣に			臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や
	き		よる統一事業とその当時の			豪商などの生活文化の展開などを基に, 近世社会
			対外関係、武将や豪商など			の基礎がつくられたことを理解している。
	第1節 大航海に		の生活文化の展開などを基			
			•			

		l			l		
	よって結び付く世		に, 近世社会の基礎がつく				
	界		られたことを理解する。				
	第2節 戦乱から						
	全国統一へ						
3	第2節 歴史の調	2	身近な地域のなかで受け	0	0	0	①自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統
	べ方・まとめ方・発		継がれてきた伝統や文化へ				や文化への関心をもって, 具体的なことがらとの
	表のしかた		の関心をもって, 具体的な				関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収
			ことがらとのかかわりのな				集した情報を年表などにまとめたりするなどの
			かで地域の歴史を調べた				技能を身に付けている。
			り、収集した情報を年表な				②比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴
			どにまとめたりするなどの				史と私たちとのつながりなどに着目して, 地域に
			技能を身に付ける。				残る文化財や諸資料を活用して, 身近な地域の歴
			博物館や郷土資料館など				史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現して
			の利用や地域の人々の協力				いる。
			も考慮し、地域に残る文化				③身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文
			財や諸資料を活用して、身				化に対する関心をもち,よりよい社会の実現を視
			近な地域の歴史的な特徴を				野にそこで見られる課題を主体的に追究しよう
			多面的・多角的に考察し,				としている。
			表現する。				